

# 夕刊バナスト

Tabloid Banesto vol.02 2021/06/01

夕刊バナスト Vol.02:2021/06/01

文章・編集:ゲームストア・バナスト 中野将之

## 前書き:

まずは時間があるときにお読みくださいませ。

ゲームストア・バナストの中野です。第2号を刊行させていただきます。よろしくお願いたします。

ゲームマーケットは大阪も東京も無事に終わりましたが、まだまだ先を見通すことは難しそうです。日々の仕事や活動をちゃんとしていくことが重要です。

相変わらずウイルスの問題はなかなか先が長いかもしれませんが、皆様の健康を願ってやみません。今号もどうぞよろしくお願いたします。



ゲームストア・バナスト 中野将之

## ゲームストア・バナスト

462-0058 名古屋市北区西志賀町4-15

Tel/fax:052-910-0025

<https://banesto.nagoya>

e-mail:postal@banesto.nagoya



Youtubeはこちら

検索で“バナスト電視台”

バナスト電視台のQRコード>>>



Instagramはこちら

[instagram.com/gamestore\\_banesto](https://www.instagram.com/gamestore_banesto)

InstagramのQRコード>>>



Twitterはこちら

<https://twitter.com/banestolive>

TwitterのQRコード>>>



## ゲーム紹介:ジキル対ハイド 3000円

2人 / 10歳以上 / 30分



「ジキル博士 vs ハイド氏」は、異なる役割の2人がトリックを競うトリックテイキングゲームです。

ジキル博士は、ハイド氏の激しい攻撃に対して自分の心を守り、二重人格の秘密を守る必要があります。反対にハイド氏は、ジキル博士を支配して自分の正体を克服することが目的となります。

このトリックテイキングゲームは、色が出された順番にカードの効果が強くなり、色が異なる場合はより高位のカードがそのトリックを取ります。

またゲームには秘薬のカードがあり、相手の出したカードによってその効果が可変するので、この効果を活用して、事態を打開することが可能です。

マーカーがトラックの最後のスペースに到達すれば、ハイド氏が即座にゲームに勝利します。反対に3ラウンド経過しても、マーカーがトラックの最後に到達しなかった場合はジキル博士の勝利です。



## ゲーム紹介:すべてを1枚のカードで 2500円

2-4人 / 8歳以上 / 20分



「すべてを1枚のカードで」は、カード上の色のついた列を完成させて得点しますが、一度に1枚のカード上の列を消すことはできないという制約のある、紙ペンゲームです。

各プレイヤーは記録のカードを2枚持ちます。

自分の手番では5個のダイスを振り、さらに2回まで好きな1個ダイスを振り直します。振り直しの後にすべてのプレイヤーがそのダイス目を適用します。

ただしダイスで出た色を使う場合には、1枚に対してその色をすべて使います。

カードの列を3つ以上完成させたらそのカードの得点とで、完成した列の長さの合計に相当する点数を獲得します。また太陽のシンボルで1列または2列を完成させるとボーナスポイントが得られ、その後山札から新しいカードを1枚取ります。

これを繰り返し、プレイヤーが4枚目のカードを完成させたら終了します。

すべてのプレイヤーは、自分のカードの列を完成させて得点し、最も得点を獲得したプレイヤーが勝ちます。



## ゲーム紹介:ドラフトザウルス 3300円

2-5人 / 8歳以上 / 15-20分



「ドラフトザウルス」は、恐竜のコマを1匹ずつ選び、自分のボードに配置してより得点を集めることを目指すボードゲームです。

このゲームは2ラウンドで行われます。各ラウンドでは、各プレイヤーは6匹の恐竜を袋から取り出して手に持ちます。

手番プレイヤーはダイスを振り、手番以外が恐竜を置くエリアや条件を指定します。その指示に従い、各プレイヤーは手にある恐竜の1匹を自分のボードに配置します。

ボードにある得点条件はそれぞれ異なり、同じ恐竜を置くごとに得点が増えるもの、恐竜のペアを構成することで得点になるものなどがあります。

各プレイヤーが恐竜を1匹選んで置き終わると、残る恐竜を左隣のプレイヤーに渡します。これを繰り返し、ボードに恐竜を6匹置き終わると、そのラウンドが終了します。

2ラウンドで恐竜12匹置き終わるとゲームは終了し、合計得点が1番高いプレイヤーが勝者です。



## コラム#02:ゲームの選び方と直感:

いつもお世話になります。ゲームストア・バネストの中野です。このコラムではいろいろ気づくことなどを書いていきます。



2回目は、「ゲームの選び方と直感」で書いてみます。

昨今、ゲームの種類が増えて、なかなか選べないこともあるかと思いますが。またそうした場合に、紹介レビューや動画などからゲームを選ばれる方が多くいらっしゃるかと思います。店でもよく、個々のゲームが面白いかどうか？をお客さまからお尋ねされることもあり、どういったゲームがお客様に向くかどうかを考えながらやっております。

中野的には、いろいろなゲームがある中で、様々吟味した結果、自分が遊ぶ気になったものを、観た目とか雰囲気を選んでいただけるといいかと思います。割と「鉄は熱いうちに打て」かと思ひ、その気になっているもののほうがきっと楽しいでしょう。

また、よくゲームをプレゼントするのにどのゲームがいいか？というお尋ねもありますが、中野的には「プレゼントする相手と一緒に遊ぶことがある」のならば、その相手と一緒に遊びたいゲームをプレゼントすることを勧めております。

皆様にとって、よりよいゲームとの巡りあわせを願っております。お読みいただきましてありがとうございました。

## ばねこみつく:#02 ペンギンパーティー

監修:ごーちんさん 漫画:ほなみるかさん  
毎月更新、その他のマンガは以下の場所にあります。



### 間違い探し!?



## ペンギンパーティー



変則的な7並べのようなゲーム。  
対応する色をピラミッドの様に並べていき、  
手持ちのカードを出来るだけ少なくした人の勝ち。  
ちなみに、同じ色のカードでイラストが若干違うので  
間違い探しも出来るよ♪